

# 第45回 東海ダービー

優勝賞金500万円(ダノンシャンティ賞)

昨年は金沢からの遠征馬、ケージーケンカメが逃げ切り勝ち。今年も名古屋、笠松、金沢所属の各馬が、頂点を目指して鎧を削る。

## 注目の競走馬



### ハナノパレード

**父** ゴールドヘイロー **注目点** 2歳時にJRA認定競走を2勝して、年明け以降は重賞に出走し、3着以内をキープ。駿蹄賞では2着

**母** カミノヤマレンジャ

**母父** アジウティケーティング

**馬主** 坂野 理三郎

**調教師** 迫田 清美

**生産者** 備大作ステーブル

に8馬身差をつけて逃げ切っており、東海ダービーでも主導権を取って、そのまま押し切りを狙いたいところだ。



### キモンダッシュ

**父** コパノフウジン **注目点** JRAのダート短距離で1勝を挙げ、3月から愛知に移籍。当初の2戦はひと息だったが、距離が1600m

**母** コパノチカチャン

**母父** ワイルドラッシュ

**馬主** 小林 祥晃

**調教師** 川西 毅

**生産者** 西村 和夫

に延びた3戦目を逃げ切った。父のコパノフウジンは短距離で活躍した馬だが、おじに中長距離で活躍したルースリンドがいる血統は魅力的だ。



### ミトノレオ

**父** ワンダースピード **注目点** 6月に北海道でデビュー勝ちを飾り、10月からは愛知所属。その後はムラのある成績だったが、3月

**母** リヒター

**母父** フォーティナイター

**馬主** 竹内 三年

**調教師** 川西 毅

**生産者** 山口 義彦

以降は好走続き。笠松の新緑賞を制し、水沢の留守杯日高賞でも2着に入線した現況は、父の成長力が発揮されてきたからかもしれない。

## コース紹介

名古屋競馬場 1900m

- 右回りコース
- 1周1100m
- 幅23~25m
- ダービー出走可能頭数12頭



**コース** 4コーナーを曲がり終わった地点からゴール板までの距離は、日本の競馬場のなかでもっとも短い194m。そのぶんカーブはゆるやかで、全体的にはスピードがある先行馬が有利となっている。その反面、外枠から流れに乗って走った馬が台頭するケースもしばしば。あまり加減速をしないでうまく立ち回ることが、好走への条件のひとつになっているのかもしれない。

**アクセス** 名古屋駅から「あおなみ線」に乗車して、所要12分の名古屋競馬場前駅から徒歩3分という、とても行きやすい競馬場。「あおなみ線」の往復きっぷの復路券を総合案内所に持参すると、特別観覧席グリーンホール(通常500円)に無料で入ることができる(先着順)。名鉄の神宮前駅、地下鉄の東海通駅から路線バスで行く方法もある。また東海通駅からは、徒歩15分前後で競馬場に着ける。

単勝	<input type="radio"/>	枠番連複	<input type="radio"/>	馬番連複	<input type="radio"/>	ワイド	<input type="radio"/>	3連単	<input type="radio"/>
複勝	<input type="radio"/>	枠番連単	<input checked="" type="radio"/>	馬番連単	<input type="radio"/>	3連複	<input type="radio"/>	重勝式	<input checked="" type="radio"/>



「ダービージョッキーに聞く」  
ダービーの思い出

東海ダービー  
今井 貴大 騎手

2012年にマイネルセグメントで東海ダービーを制したのが、今井貴大騎手。デビューから5年半でダービージョッキーに輝いた。

「ゴール直前で、外から宇都さんの馬と大畑さんの馬が勢いよく追い込んできたのですが、でも僕の馬は最後に差し返してくれたんですよ。騎手になったときには、一度はダービーを勝ってみたいと思っていましたが、こんなに早く勝るとは予想外でした」と、そのときを昨日のこのように話してくれた。

「ダービーは乗るのも大変なこと。僕がダービーを勝てたのは、運がよかったからだと思います。でも、それを引き寄せるための努力も必要なんですよ。僕は積極的に厩舎を回って、2歳馬にたくさん乗るようにしています。そのなかでいい縁があれば、ですね」  
今井騎手はダービージョッキーの称号を得て、騎手としてやっていける自信が確かなものになったとのこと。それでも「またダービーを勝りたい」と、やはりダービーは特別な響きを持っているのだろう。

## プレイバック&データ

### 第44回 東海ダービー

1900m/12頭/名古屋  
2014.6.6/晴稍重

順	枠	馬	馬名	所属	性	歳	騎手	調教師	タイム	着差	人気
1	7	9	ケージーキンカメ	金沢	牡	56	青柳正	鈴木正	2.03.8	①	
2	9	6	ノゾミダイヤ	愛知	牡	56	大畑雅	錦見勇	6	⑤	
3	7	10	ドクターナイヴ	愛知	牡	56	岡部誠	荒巻透	7	②	
4	6	8	トーホウボンバー	愛知	牡	56	安部幸	原口次	1½	④	
5	8	3	ピースフルパティ	愛知	牡	56	柿原翔	藤ヶ男	1½	③	



第44回(2014)ケージーキンカメ

**レビュー** 金沢からの遠征馬、ケージーキンカメが単勝1.4倍と圧倒的な人気。JRAでは大敗続きだったが、金沢に移ってからはすべて圧勝で5連勝。東海ダービーでは一気の相手強化となったが、好位追走から早めに先頭に立つと、最後は独走状態で勝利となった。2着のノゾミダイヤとは6馬身差。そこから3着馬までも7馬身の差がついた。

### 第43回 DATA 2013

名古屋/1900m/12頭/2013.6.7/雨良

順	枠	馬	馬名	所属	性	歳	騎手	タイム	着差	人気
1	6	6	ウォーターブライド	愛知	牝	54	兒島真	2.05.3	①	
2	6	8	ホウライジェントル	愛知	牡	56	柿原翔	¾	⑦	
3	6	5	ゴールドブラザー	笠松	牡	56	佐藤友	3	④	

### 第42回 DATA 2012

名古屋/1900m/12頭/2012.6.8/曇良

順	枠	馬	馬名	所属	性	歳	騎手	タイム	着差	人気
1	7	9	マイネルセグメント	愛知	牡	56	今井真	2.03.7	④	
2	6	5	ブライトシンパー	愛知	牡	56	宇都英	アタマ	⑨	
3	4	4	ネオンオーカン	愛知	牡	56	大畑雅	アタマ	⑩	

### 第41回 DATA 2011

名古屋/1900m/12頭/2011.6.10/曇良

順	枠	馬	馬名	所属	性	歳	騎手	タイム	着差	人気
1	6	8	アムロ	愛知	牡	56	戸部尚	2.04.3	⑦	
2	8	12	ミサキティンパー	愛知	牡	56	山本茜	ハナ	①	
3	7	9	サカジロタイオー	愛知	牡	56	阪野学	5	⑨	

## データ分析

### 枠番別成績

※過去9年間のデータを分析

枠番	成績	勝率	連対率	3着内率
1枠	0-1-1-7	0%	11.1%	22.2%
2枠	0-1-0-8	0%	11.1%	11.1%
3枠	0-1-1-7	0%	11.1%	22.2%
4枠	1-0-1-7	11.1%	11.1%	22.2%
5枠	1-2-1-13	5.9%	17.6%	23.5%
6枠	3-1-1-13	16.7%	22.2%	27.8%
7枠	2-2-3-11	11.1%	22.2%	38.9%
8枠	2-1-1-14	11.1%	16.7%	22.2%

**レポート** 過去9年の東海ダービーでは、1枠から3枠の勝利がゼロ。4枠ではエレヌが勝利しているが、全体的に外枠優勢の傾向がはっきり。そして2011年以降の連対馬はすべて、5枠より外となっている。

### 当日の馬体重別成績

※過去9年間のデータを分析

馬体重	成績	勝率	連対率	3着内率
440kg以下	2-2-2-24	6.7%	13.3%	20.0%
441~450kg	1-0-0-7	12.5%	12.5%	12.5%
451~460kg	4-0-2-11	23.5%	23.5%	35.3%
461~470kg	2-2-0-18	9.1%	18.2%	18.2%
471~480kg	0-3-3-9	0%	20.0%	40.0%
481~500kg	0-0-1-8	0%	0%	11.1%
501kg以上	0-2-1-3	0%	33.3%	50.0%

**レポート** 当日の馬体重別に成績をまとめてみると、好相性を示しているのが470kg以下だった馬。とくに451~460kgで東海ダービーを迎えた馬が良好だ。471kg以上からは5頭が2着に入っているが、優勝馬は出ていない。

### 駿蹄賞で敗れていた、東海ダービー連対馬一覧

※過去9年間のデータを分析

年度	着順	馬名	駿蹄賞での単勝人気	着順
07年	1着	マルヨフェニックス	4番人気	3着
08年	2着	ノゾミカイザー	2番人気	7着
09年	1着	ダイナマイトボディ	2番人気	3着
11年	1着	アムロ	2番人気	7着
12年	1着	マイネルセグメント	3番人気	7着
12年	2着	ブライトシンパー	8番人気	4着
13年	2着	ホウライジェントル	4番人気	3着
14年	2着	ノゾミダイヤ	8番人気	4着

**レポート** 大型連休中に実施される駿蹄賞が東海ダービーの前哨戦となっているが、そこで敗れた馬が巻き返す例が多くなっている。表にある該当馬はすべて、駿蹄賞で3~4着、または7着だった馬。今年も駿蹄賞の着順には要注目だ。



第43回(2013)ウォーターブライド(右)



第42回(2012)マイネルセグメント(左)